

いろいろな支援のカタチがあります

日本女性財団は、皆様の会費・ご寄附・ご支援で成り立っています。
「女性たちが笑顔で活躍できる社会」を実現するために活用させていただきます。

個人会員 (Femship Supporter)



財団の趣旨に賛同し、ご寄附をしていただけます。
毎月々1000円単位(5000円まで)口座引き落としの寄附が可能です。1000円～。
◎各種クレジットカードに対応しております。
詳しくは公式サイトまたは右下のQRコードからご確認ください。

法人会員 (Femship Partner)



法人は年会員制です。
30万円／財団の趣旨に賛同する企業様
50万円／財団の趣旨に賛同し、共に活動する企業様
100万円／財団の趣旨に賛同し、共に学習機会や活動に参加する企業様
300万円～／財団の趣旨に賛同し、共に学習の機会や活動、
研究・開発などに取り組む企業様
ご不明な点はお問い合わせください。 info@japan-women-foundation.org

ボランティア会員 (Femship Member)



会費：無料
日本女性財団が発信する活動情報を拡散したり、イベントのお手伝いなどを
していただける方は、専用サイトからご登録ください。
<https://www.femship.jp/>



■ 随時寄附・遺贈など

日本女性財団事務局
お問い合わせ先 info@japan-women-foundation.org
口座へ直接のお振込みを希望される場合は、
以下にご寄附をお願いいたします。

■ 女性たちを支援するためのご寄附先

みずほ銀行 銀座中央支店
普通 3057005
一般財団法人日本女性財団

■ 財団との連携、各種登録、 取材などのお問い合わせ

フェムシップドクターズや、女性支援団体登録、取材依頼、
その他のお問い合わせは、公式サイトまたはQRコードから
ご確認ください。

一般財団法人 日本女性財団
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1
大手町ビル1.2階 SPACES 大手町
TEL:03-6841-3996
メール：info@japan-women-foundation.org



2022年8月更新

2022年8月更新

女性たちに、生き抜く力を。

日本女性財団



すべての女性が
健康で生きやすく、活躍できる
社会を目指して

医療・福祉・政治・経済が連携し、国政に声を届けます。

japan-women-foundation.org



私たちの活動は、
「女性たちを救済して乗せる母船」という
意味からフェムシップと呼んでいます。

女性の生涯のWell-beingの実現に向けて、草の根から包括的に社会を動かします

日本女性財団とは

女性の生涯のWell-beingと、活躍を実現します。
医療・福祉・政治・経済が連携し、政策に声を届ける団体です。

※ Well-beingとは「幸福」。心身と社会的な健康を意味する概念

日本女性財団 代表理事メッセージ 対馬ルリ子

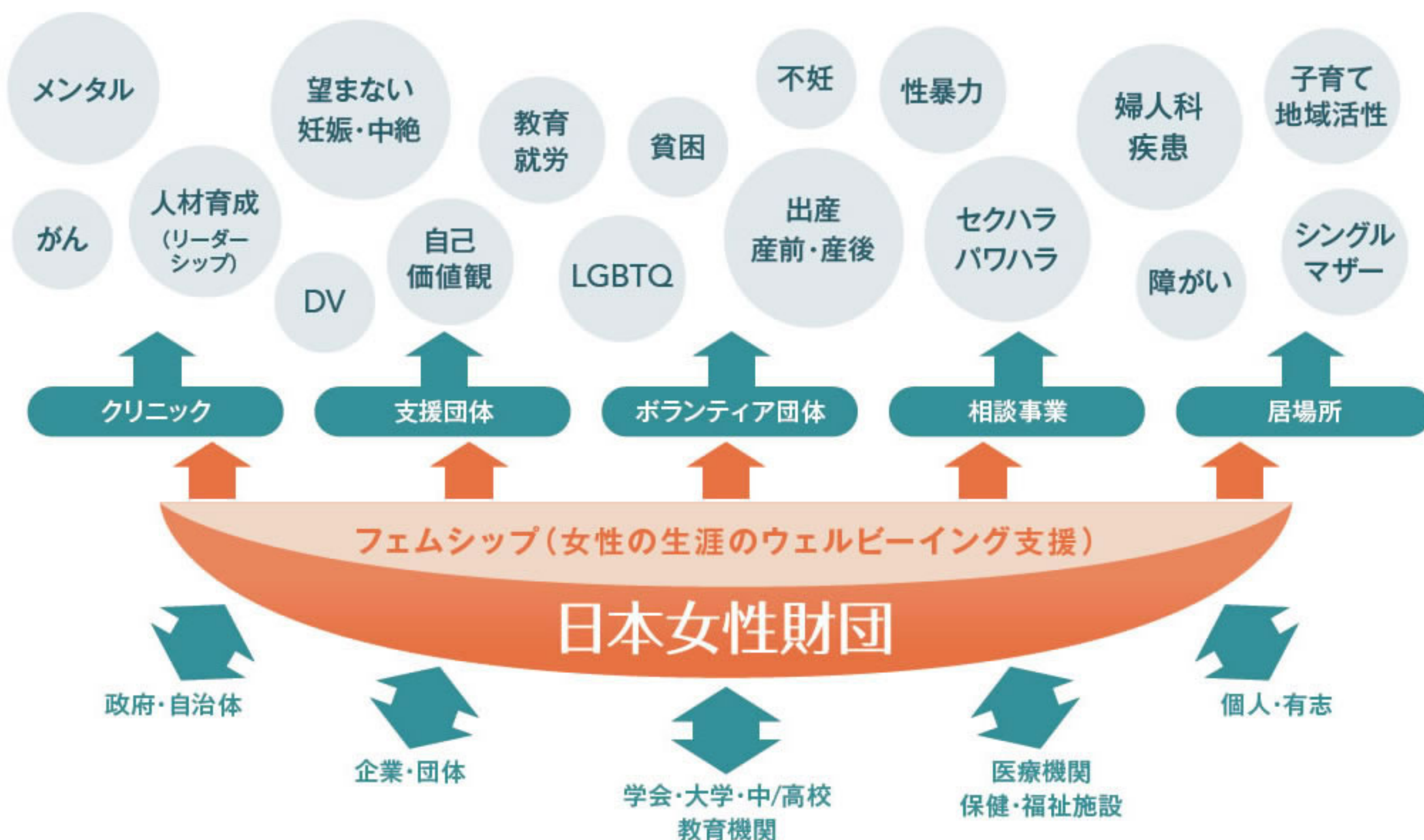
本財団は、未曾有のコロナ禍の中で誕生しました。女性には特有の健康リスクがあります。日本の女性に関するヘルスリテラシーは他の先進国に比べ低いのが現状です。私たちは、「女性の生涯の心身と社会的なウェルビーイングを支援する」というテーマを掲げ、女性の心身の健康 および社会的な活躍を後押しし、新しい日本の社会づくりに貢献してまいります。また、コロナ禍の医療現場では、女性たちの困窮した姿が、目に見えて増えてきています。望まない妊娠、中絶、DV、虐待、失業、貧困による栄養失調、月経困難症など、女性たちに大きな負担とリスクが増加しています。

日本女性財団は、包括的に女性の人生を支え、救済して乗せる母船(femship: フェムシップ)をイメージしています。支援を必要としている女性たちを、フェムシップドクターズや支援団体が窓口となって、適切な専門機関、継続的な支援につなぎます。また、多くの企業や組織と連携して社会課題解決のための活動を展開します。

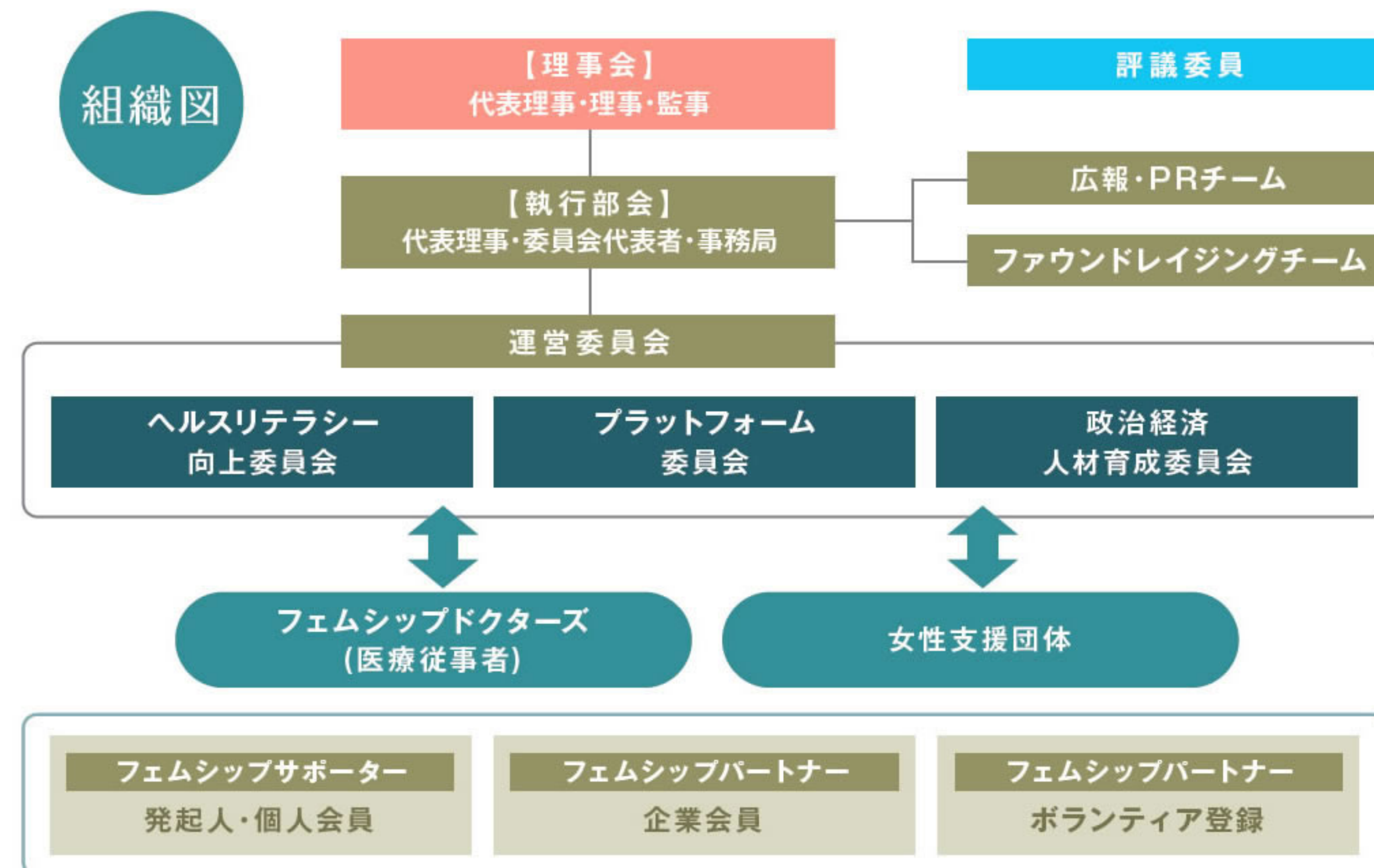
あなたもfemshipに乗船し、社会を動かしませんか。

対馬 ルリ子 1984年、東京大学医学部産婦人科学教室入局。

都立墨東病院周産期センター立ち上げを経て、2002年、ウイミンズウェルネス銀座クリニック(女性ライフクリニック銀座)を開院。2003年、「女性医療ネットワーク」を設立、全国500名の女性医師・女性医療者と連携して活動。著書に、「キレイな[からだ・心・肌]女性ホルモン塾」、「女性外来が変える日本の医療」など。テレビは、「徹子の部屋」、「世界一受けたい授業」、「NEWS ZERO」など多数に出演。



組織図



評議員

 奥田浩美様 株式会社ウイズグループ 代表取締役	 小巻亜矢様 株式会社サンリオエンターテインメント 代表取締役社長	 田瀬和夫様 SDGパートナーズ有限会社 代表取締役CEO
 吉村泰典様 慶應義塾大学 名誉教授 新百合ヶ丘総合病院 名誉院長	 高階恵美子様 自民党 衆議院議員	

理事

 対馬 ルリ子(代表理事) 産婦人科医 対馬ルリ子女性ライフクリニック 理事長	 吉川千明 美容家・ オーガニックスペシャリスト	 内田容子 総合電機メーカー 広報・PR職(現職)
 森田敦子 株式会社サンルイ・ インターナショナル 代表取締役	 北條裕子 株式会社 SouGo 代表取締役社長	

監事

 池上清子様 公益財団法人 プラン・インターナショナル・ジャパン 理事長

※内容は2022年度です。

具体的な活動を通じて現状の情報・データを収集し、政府や自治体に提言

Action

私たちは、3つのテーマで活動します

I 女性たちの現状を知る活動

女性たちが相談しやすい専門窓口・クリニック・居場所・オンラインなどを構築し、女性たちの実態が把握できる活動。

すべての女性が
健康で生きやすく、
活躍できる社会を目指す

II 女性支援を拡げる活動

女性支援団体同士が連携するプラットフォームづくりを行い、多様な団体と横連携し、支援の輪を拡大、強化する活動。

III 情報・データを集め政策提言する活動

女性たちの実態やデータを収集し、政府や自治体をはじめ、社会に具体的な提言を行う。より良い社会システム構築に向けた活動。

I 女性たちの現状を知る活動

女性たちが相談しやすい専門窓口を増やす活動



駅ナカ、公民館、学校、商店街などの場所を使って立ち寄りやすい保健室活動を行っています。親身になってお話を聞きます。フェムシップドクターズが皆様の地域や学校、企業などにも出向きます。ご相談ください。

※財団と連携する医師、医療従事者をフェムシップドクターズと呼んでいます。

困窮する女性たちを緊急救済する活動



性被害、DV、望まない妊娠、健康不安や不調、栄養失調、生活困窮な状況下にある女性たちをフェムシップドクターズが救済する活動をしています。地域や女性支援団体と連携し、気軽に相談できる窓口やシェルターなどの場所を増やしています。

II 女性支援を拡げる活動

女性支援団体や専門機関との連携を強める活動



各地の女性支援団体や専門機関同士の連携を支援しています。女性たちが課題に合わせて、適切な解決の場所につながるようにします。団体同士や自治体、専門機関などとの情報交換、勉強会も開催しています。

女性の健康と活躍のためのリテラシー教育の活動



女性はもちろんのこと、女性が働く職場や学校、自治体、夫婦家族などを対象に、女性特有の健康問題や、生涯を通じて活躍するために必要な知識教育を行っています。オンライン、リアルなどさまざまな方法で開催します。お気軽にお問い合わせください。

III 情報・データを集め政策提言する活動

社会や政策に働きかける活動



女の子、女性たちが健康・政治・経済・人材育成の観点で社会とながら、ウェルビーイング実現のため、現状を調査し、そのデータをもとに政策提言を行います。女性たちが健康で生きやすく、活躍できる、より良い社会システムの構築に向けた活動をします。

2022年7月22日
高市早苗 自由民主党 政務調査会長に、NPO法人ReMind様と行った「1万人ママの声を聞かせて」アンケートの結果をもとに要望書を提出しました。

私たちと一緒に学び、参加し、活動しませんか？

日本女性財団に関わる団体や専門家の情報を広く多くの人たちに見ていただけるポータルサイト「femship.jp」では、イベント、セミナーなどさまざまな役立つ情報が満載です。ボランティアも募集しています。あなたもメンバーに参加しませんか。

<https://www.femship.jp/>



#femship



femship.official

